

法など高付加価値の農業が見直される時代。組織的な集落営農、農業生産法人などで無駄を無くし、効率的な取り組みが必要。

規制緩和で民間企業が農業に参入できるようになった。規制緩和してよいものとしないう方がよいものを見極めて欲しい。
自分たちの出来る範囲は自分たちでやらなければならぬが、大きな部分は行政できっちりして欲しい。

2007年には団塊の世代が退職する。その力を吸収できるのは農地や林地である。自給率の向上もやらなければならぬ。朝来市で農業は大きな役割を担う。総合計画の中で農業、林業の役割を今の意見を参考にして展開していきたい。

中山間地域では面積的問題もあり、集落営農を進めようとしても難しい。市としての農地保全対策の方向は。

国の法律は、農地を集約的に集めてコストを削減し生産力を上げるといった内容である。しかし、朝来市には朝来市

にあう農政の展開が必要。付加価値の高い儲かる農業をしていかなければならない。農業土木的なことでなく農業振興が大切である。

夜久野高原のピーマンは但馬でもトップの収量である。岩津ねぎもすばらしいものが出てくる。うまいもの生産にもっと力を入れられないか。我々の手で実践できる方法を考えていただきたい。

夜久野高原の大きなポテンシャルは重要である。市民の知恵を拝借しながら有効利用しなければならない。

朝来市は岩津ねぎや黒大豆が特産品で出ているが、地域的にも環境的にも良いところなので、専門家にお願ひし、他では出来ない物を考えては、無農薬のアイガモ農法も朝来市に広がれば。

熱心な農家を中心に、集落営農を含めた農業展開をする時代に入る。そういう農業が求められる時代。新たな農業施策に伴って土づくりセンターを整備し、有機農法への大転換を図っていく。特産品開発にもがんばりたい。

商工・職場

地元の企業を育てる、オンリーワン企業を育てるといいう意気込みで、地元の商工業に対して助成を。

地域の産業を健全に育成する支援策は具体的制度を提案している。朝来市では地場産業で規模を拡大されている会社が多くある。そうしたところにてできるだけ支援する制度を条例化し、進めていく必要がある。オンリーワン企業が育ちつつあり、一層の支援をしていきたい。

企業誘致は重要である。これからの市のためにも若者の働く場所を確保してほしい。若者が定住すれば少子化対策にもなる。人生設計のできる勤め口を確保しないと朝来市の将来は暗いと思う。全国15位の住みよい朝来市であるので、積極的に進めて欲しい。

総合計画に位置付けて進めたい。北近畿豊岡自動車道が播但道と連結するので条件はよくなる。朝来市は用地に空きが全く無い。企業団地をつくってもらおうように県に要望を

している。委員会を設置して積極的に展開していきたい。また、製造業だけが企業、産業ではない。教育や福祉、健康なども産業である。若い人は三次産業、サービス産業に関心が高い。教育、福祉、健康を産業として位置付け、安定した職場の確保が重要。

駅前には閉店しなければならぬ商店がある状況。大型店に対する対応策が必要ではないか。

全国的に駅前には厳しい状況である。大型店の郊外への進出を抑制し、旧市街地への立地を条例化したところもある。人が集い活動する拠点を何処に設けるか。それが駅前の空家対策として普及しつつある。市民活動、交流の場として広場や掲示場所を確保する事業が計画されつつあり、駅前の交通の利便性を最大限活用する地域づくりを進める必要がある。なおかつ、商業者のみなさんの努力も喚起していかなくてはならない。関係のみなさんと協議をして進めたい。

えるべきである。竹田城跡、茶すり山古墳、埋蔵文化財センターを面的に活用してダイナミックにやろうという考えを持って欲しい。

竹田城跡、茶すり山古墳、埋蔵文化財センター、生野、神子畑の鉱石の道を一体化して進めるべき。これらは全国的にも誇れるものである。
生野にはたくさんのお史跡がある。歴史研究のためにも観光ガイドの養成が必要。

市内にはたくさんのお史跡があるのでボランティアガイド養成は重要である。具体的検討を進めたい。

段が峰の風力発電はイヌワシの問題があるが、推進してほしい。

風力発電はCO2削減の代表である。4万5千キロワットの近畿最大の風力発電基地を民間業者2社が計画を進行中である。野生動物保護関連の協議も進んでおり、合意形成できれば実現可能である。市としてはシンボリックな事業として積極的に推進したい。

観光

市のランドデザインを考